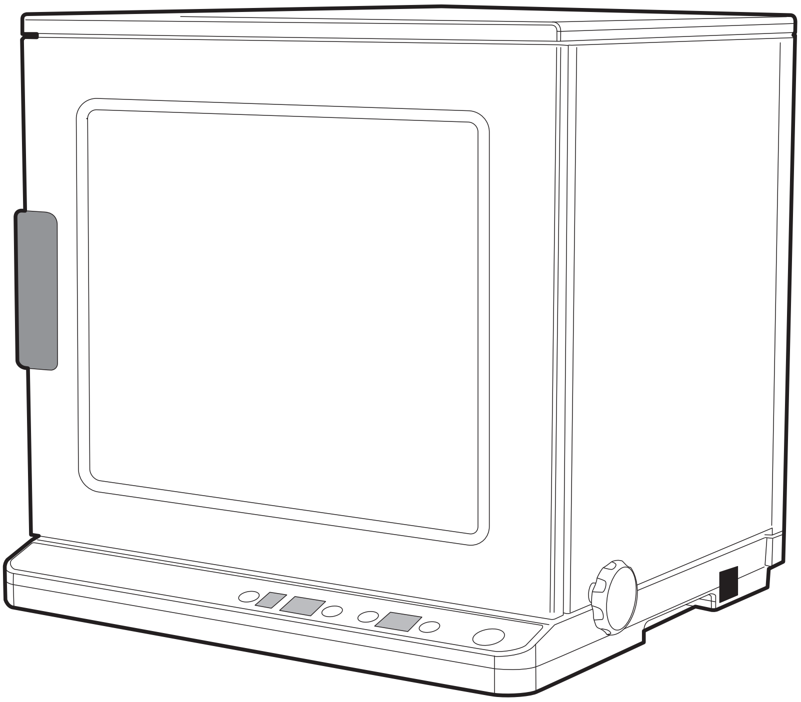
KNEADER

発酵器

品番: PF101/PF101V

取扱説明書

一般家庭用
（業務用として使用しないでください）



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書は必要なとき、すぐに取り出せるように大切に保管してください。
この取扱説明書をよく読んで理解してから、発酵器を使用してください。
本製品は日本国内専用です。海外ではご使用いただけません。

目次

安全上のご注意 ― 必ずお守りください ― 2
本書で使用しているマークについて
警告
注意
使用上のお願い

発酵器PF101/PF101Vの特徴 5

各部のなまえとはたらき 6
主要部分
操作部

ご使用方法 8
発酵器の準備
発酵器の使い方

お手入れ 13
本体
分解・保管方法

故障かな?と思ったら 16

アフターサービスについて 17

仕様 18

安全上のご注意

—必ずお守りください—

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●誤った使い方をしたときに生じる内容を次のように区分していきます。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が予想される内容

本書で使用しているマークについて

●本書で使用しているマーク(絵表示)と意味は、次の通りです。

絶対に行わないでください。	火気近くでの使用は、絶対に避けてください。	電源プラグは必ずコンセントから抜いてください。
手を触れないでください。	水が飛び散る場所での使用は、絶対に避けてください。	電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。
修理技術者以外の人は、修理しないでください。また改造は行わないでください。	必ず指示にしたがって、行ってください。	高温になりますのでご注意ください。製品本体に具体的な注意が描かれています。

本製品の使用にあたっては、警告･注意に書かれていることを守り、事故が発生しないよう心がけてください。
また、本製品の使用者･管理者は、本製品の内容を理解していない方に操作させないでください。

⚠ 警　告	
電源プラグのほこりを取り除く ほこりが付着した状態で使用すると、感電や火災の原因になります。	**電源コードを傷つけたり、加工したりしない** 傷ついた状態や加工した状態で使用すると、感電や火災の原因になります。
電源コードは無理に曲げたり、引っぱったりしない 電源コードが傷ついて、感電や火災の原因になります。	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因になります。
電源コードにものを載せたり、踏んだりしない また、人の行き来が頻繁な場所に、電源コードを配線しないでください。電源コードが傷ついて、感電や火災の原因になります。	**タコ足配線しない** 許容電流オーバーで、感電や故障の原因になります。

⚠ 警　告

ヒーター本体は絶対に水洗いしない

本体内部に水が侵入して、感電や故障の原因になります。

使用時以外（部品の取り付け・取り外し・お手入れする時を含む）は電源プラグをコンセントから抜く

けがをする恐れがあります。製品本体をお手入れする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、作業を行ってください。

使用中や使用直後は熱板や加湿皿に触れない

やけどの恐れがあります。
加熱板の上は、瞬間的に100℃を超す場合もありますので、手を触れないでください。

ヒーター本体は分解や改造をしない

分解や改造をすると、異常動作や発火の原因になります。また本製品の内部には、感電する恐れのある高電圧部分や、その他の危険な部分があり、人身事故に至る恐れがあります。この取扱説明書に記載した以外の内部点検・調整・修理は、当社サポートデスクにご相談ください。

電源は交流100V専用コンセントを使用する

感電や故障の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

定格7A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部分が異常発熱して発火する恐れがあります。

アースを確実に取り付けてください

故障や漏電で感電する恐れがあります。

本体の前面を開放し、周囲の壁などから4.5cm以上、電源側は8cm以上離して置く

故障、発火事故の原因になります。

温度センサーに衝撃を加えない

温度制御が正常に働かなくなる恐れがあります。

⚠ 注　意

不安定な場所や、粉・油で汚れた机の上では、使用しない

本製品の落下・横転により、けがをする恐れがあります。
必ず水平かつ安定した状態で使用してください。

火気または水とびの近くでは使用しない

火災や、本体内部に水が浸入して感電の原因になります。

本体天面に物を絶対に載せない

物を置くと落下したり、本体が変形して、
破損やけがをする恐れがあります。

操作パネルに水をかけない

電気回路が故障する恐れがあります。ぬれた場合は、乾いた布などですみやかにふき取ってください。

棚板に重量物を載せない

棚板に過度の重量物を載せないでください。
破損する恐れがあります。

パン生地の発酵以外に使用しない

布などの乾燥に使用するとヒーターが異常発熱して
事故の原因になります

棚板を完全にふさがない

完全にふさぐと加熱して危険です。空気の対流をよくするために、
棚板の前後と両サイドはあけておいてください。

お手入れの際は、引火性の溶剤は使用しない

火災の危険があります。

使用上のお願い

◆次のような場合は、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いてから、当社サポートデスクにご相談ください。

・電源スイッチを入れても作動しない場合

・電源コードやプラグが破損したり、すり切れたりした場合

・落下などで変形した場合

・本体(フレーム)内に液体が入った場合

・長時間風雨にさらされた場合

・煙が出たり、異臭がしたり、取扱説明書にしたがって操作しても正常に作動しない場合

◆製品に添付されている警告ラベルには、安全のための重要な注意事項が記載されていますので、以下のことを守ってお使いください。

・本製品に貼られているラベルは、常に読める状態で使用してください。また、他の機材で隠したりしないでください。

・取り外したり、改変しないでください。

・汚れたり、破損した場合は、新しいラベルに張り替えることをおすすめします。ラベルのお求めについては、当社サポートデスクにご相談ください。

◇経年変化による劣化とみられる事故・故障があります。「経年変化による劣化」とは、光、温度、湿度、洗剤、油、カビなど多くの要因により、全く使用しない場合でも自然環境下で月日が経過すると状態が変化することをいいます。
また、これらの要因の他にドアの開閉による摩耗・衝撃などによる疲労が加わって劣化故障につながる場合があります。

◇事故を防止するために、使用後は必ず電源プラグを抜いてください。

発酵器PF101/PF101V の特徴

1 工具を使わず簡単に組み立てられます。

2 コンパクトに折りたためるので、収納に場所をとりません。

3 高効率ヒーターの採用で庫内温度を一定に保ちます。

※庫内温度は、中に入れる生地やオーブン皿の、量や大きさに左右されます。

4 密ぺい度が高く良好な状態で発酵ができます。

5 高精度温度センサーとマイコン制御の組み合わせで、
温度管理を行います。

温度設定範囲は24〜41℃です。

6 湿度を保つ、加湿皿付きです。

7 予熱および発酵完了はブザーでお知らせ！
「お知らせブザー」付きです。

8 明るく見やすいデジタル表示で、操作性に優れており、
簡単に温度、時間の設定ができます。

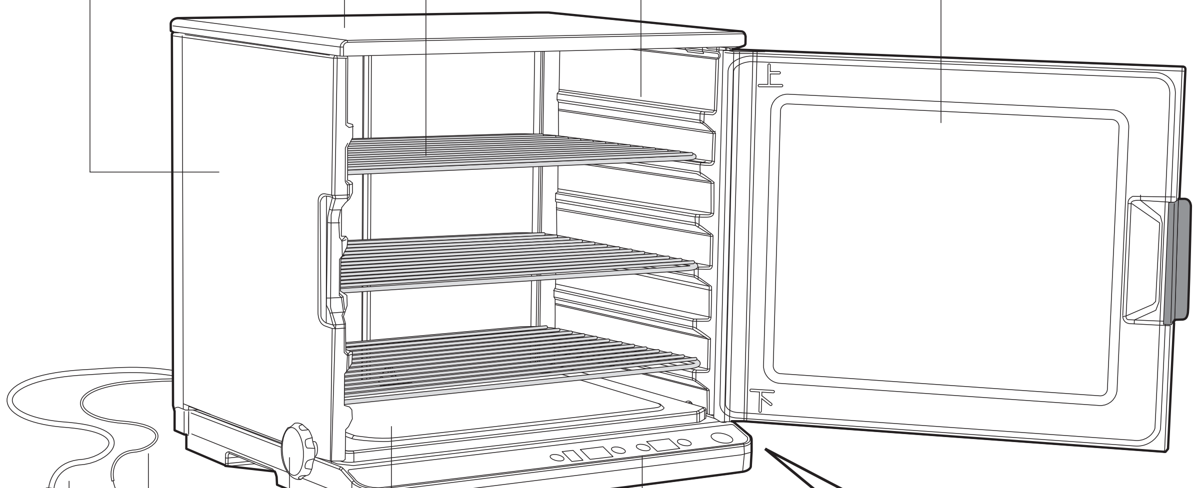
電源ONの状態でヒーターがOFFの場合も、現在の庫内温度表示になります。
発酵器には冷却能力はないので、室温以下にはなりません。

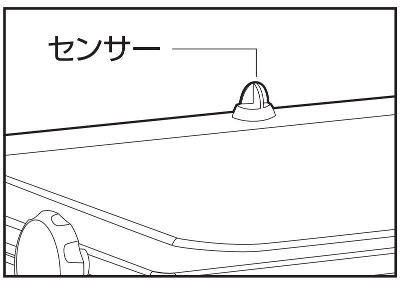
9 プラスチック（PP）二重構造を採用。
軽量で保温性、耐久性に優れており、お手入れが簡単です。

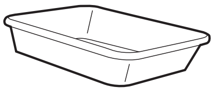
10 庫内を乾燥させるためにドアを半開きで固定できます。
（乾燥ポジション）

各部のなまえとはたらき

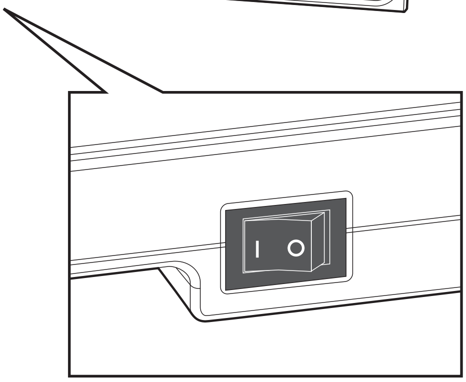
主要部分







加湿皿



電源スイッチ
Ｉ：ON
O：OFF

【本体と付属品】　最初に下記のものがすべて揃っているか□にチェックしてご確認ください。

本体	□ ヒーター本体	□ 天板	□ 折りたたみ板	□ ドア	□ 取付ノブ（2個）
付属品	□ 棚板（3枚）	□ アース線	□ 加湿皿		
	□ 取扱説明書(本書)	□ 保証書	□ 収納袋（2枚）		

操作部

発酵時間設定ボタン

⊖、⊕どちらかのボタンを押すと、
発酵時間表示が点滅します。

▼

点滅している間に設定してください。
1回押すごとに1分増減します。
1秒以上押し続けると連続して増減します。
最大6時間まで設定できます。

温度設定ボタン

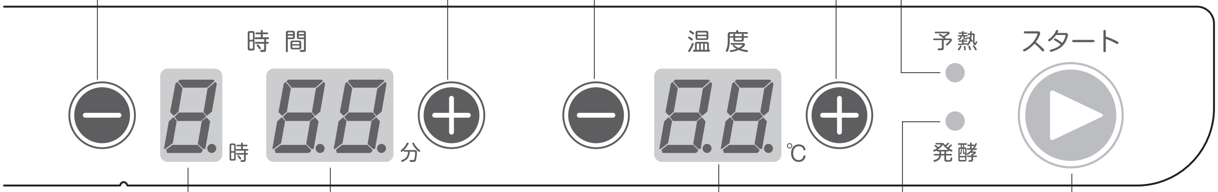
⊖、⊕どちらかのボタンを押すと、
設定温度表示が点滅します。

▼

点滅している間に設定してください。
1回押すごとに1℃増減します。
1秒以上押し続けると連続して増減します。

予熱ランプ（オレンジ）

予熱中に点滅します。
設定温度になると保温状態になり、
点滅から点灯になります。



発酵時間表示

電源スイッチをオンにすると、
「ピッ！」というブザー音とともに点灯し、
初期設定時間を表示します。
点滅している間に発酵時間の設定ができます。

発酵ランプ（グリーン）

発酵中に点滅します。

温度表示

電源スイッチをオンにすると、
「ピッ！」というブザー音とともに点灯し、
初期設定温度を表示します。

▼

3秒後庫内温度を表示します。
点滅している間に発酵温度の設定ができます。

スタートボタン

一度押すと予熱がスタートします。

▼

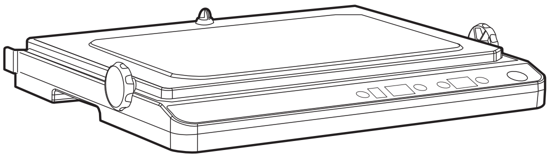
予熱中または保温状態の時にスタート
ボタンを押すと発酵がスタートします。

※1時間スタートボタンが押されないと
　ヒーターがOFFになり待機状態になります。

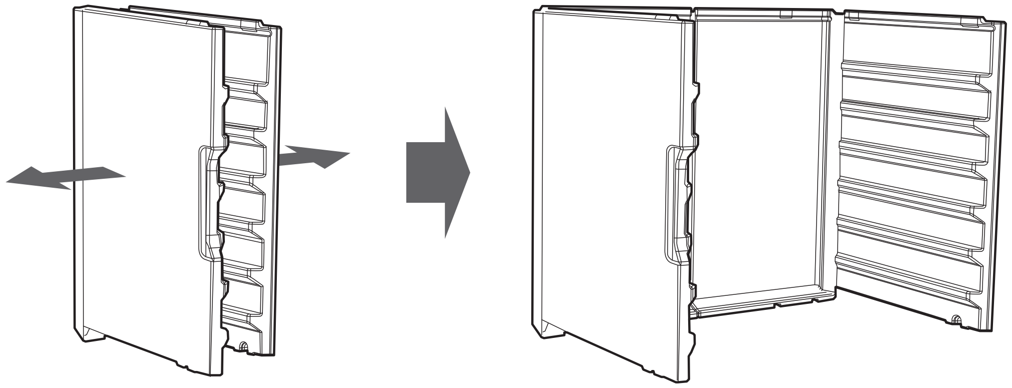
ご使用方法

発酵器の準備

1　ヒーター本体を安定した場所に置く。

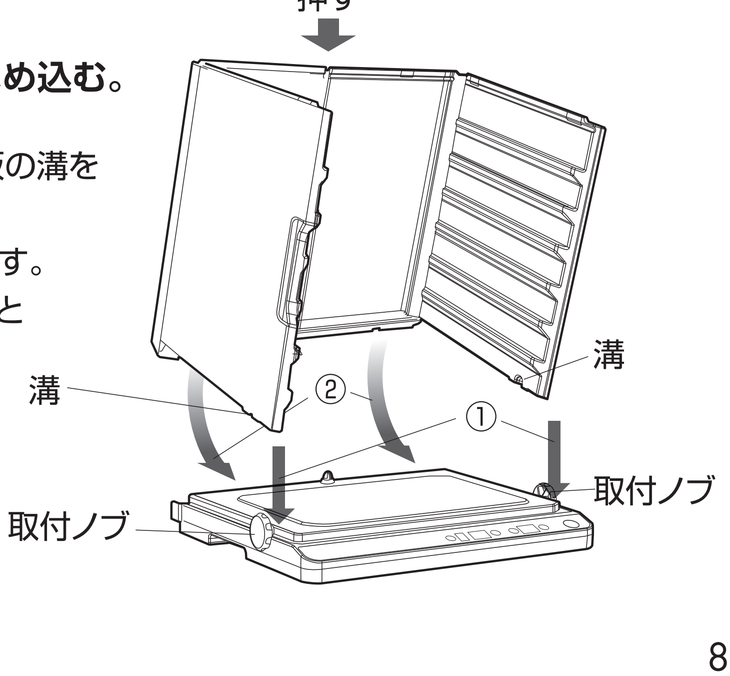


2　折りたたみ板を広げる。



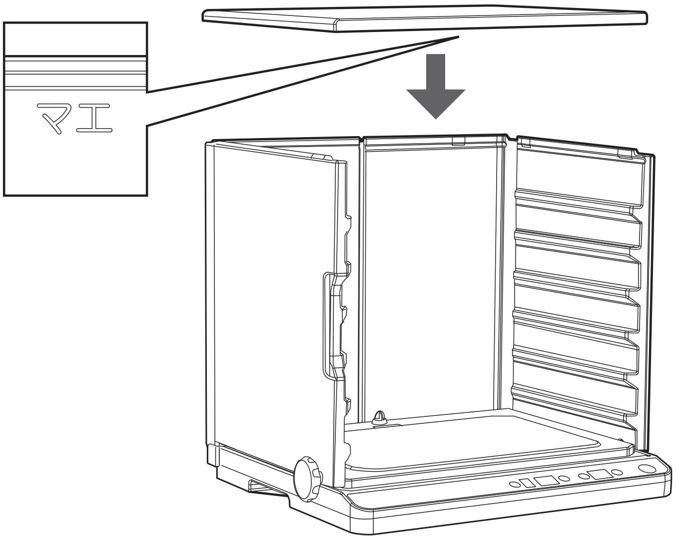
3　折りたたみ板をヒーター本体にはめ込む。

①取付ノブのところに、折りたたみ板の溝を合わせます。
②後ろをヒーター本体にはめ込みます。
折りたたみ板の上部を押し付けると簡単にはめ込めます。



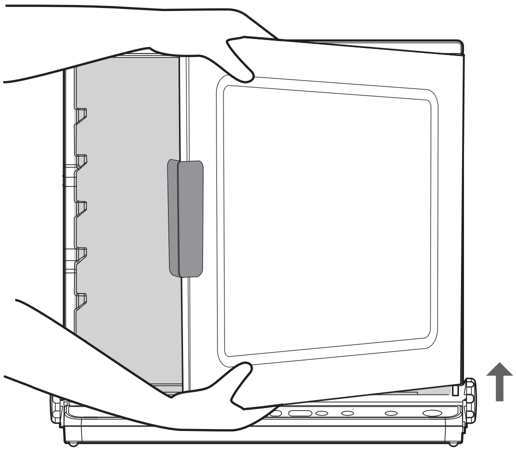
4 天板をのせ、天板の上から手で軽くたたいて取り付ける。

天板の内側に「マエ」と書いてあるほうを前にしてください。



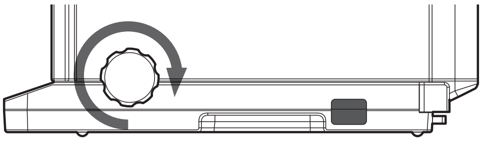
5 折りたたみ板を持ち上げながら、ドアをはめ込む。

ドアを両手で持って、ドアの上側の突起を天板の穴にはめ込んだあと、軽く天板を持ち上げながら、ドアの下側の突起をヒーター本体にはめ込んでください。

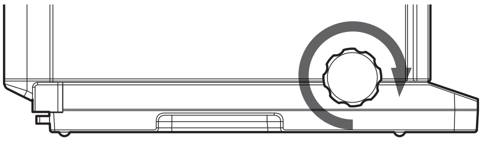


6 ヒーター本体と折りたたみ板を取付ノブでしっかり固定する。

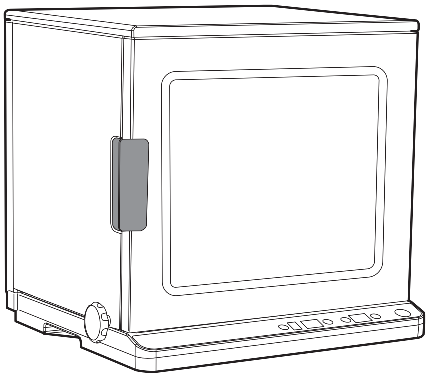
〈右側〉



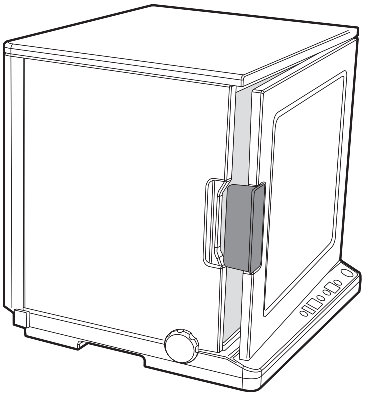
〈左側〉



〈完成〉



〈乾燥ポジション〉



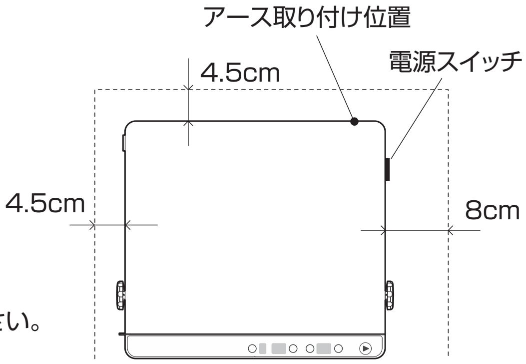
庫内を乾燥させるときはドアを半開きで固定できます。

7 発酵器を周囲の壁などから離して置く。

本体は前面を開放して、背面や左右の壁などから4.5cm以上離してください。

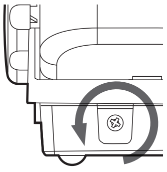
電源スイッチ側は8cm以上離してください。

発酵器が置かれた台が安定しているか、ご確認ください。

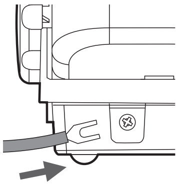


8 アースを取り付ける。

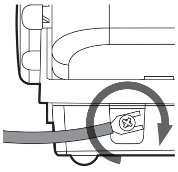
①ネジをゆるめてください。



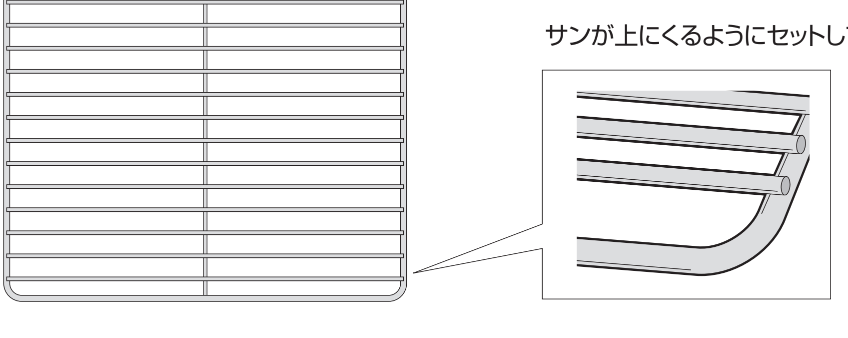
②アース線の端子を付けてください。



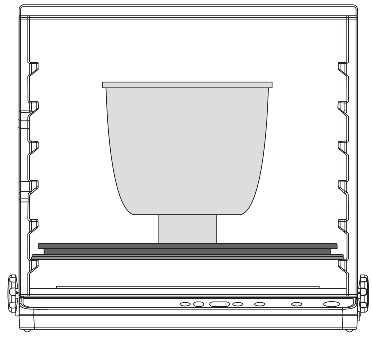
③ネジをしめてください。



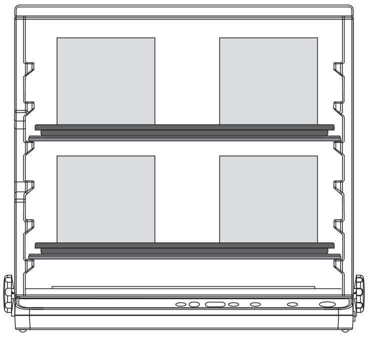
9 棚板を取り付ける。



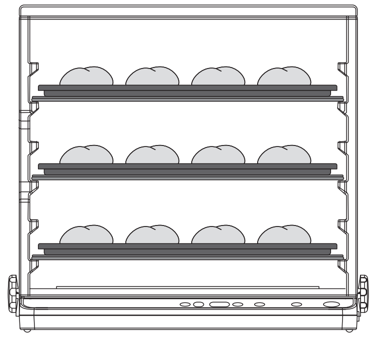
サンが上にくるようにセットしてください。



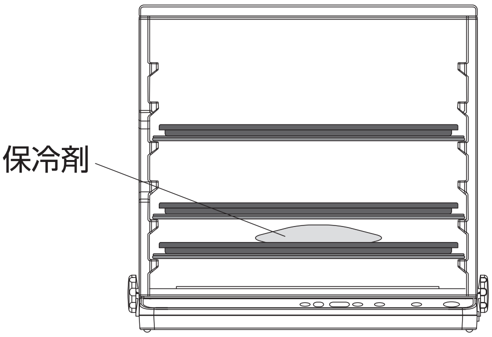
日本ニーダー社のポットを使用する場合、
一番下に棚板をセットし、オーブン皿を
のせてください。



食パン型（2斤）が最大4つまで入ります。



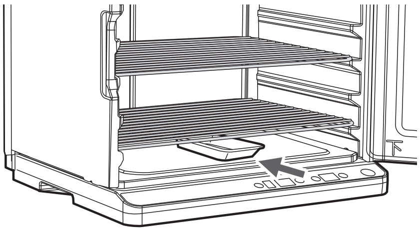
ロールパンなどのプチパンの場合、
オーブン皿で3〜6段まで入ります。
（棚板はオプションで追加購入できます）



庫内の温度を下げるために保冷剤を
置くことができます。

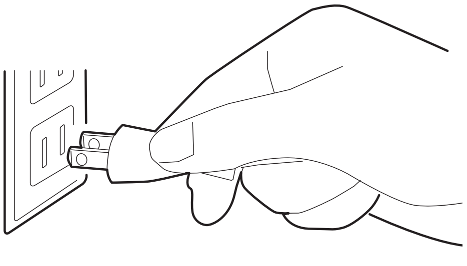
10 加湿皿を置く。

加湿皿に、約100ccの水またはぬるま湯を入れ、
熱板の中央に置きます。
長時間使用する場合は、水またはぬるま湯を
追加してください。

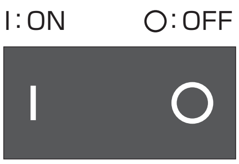


11 電源プラグをコンセントに差し込む。

電源は100Vのコンセントを使用してください。
タコ足配線は危険ですのでおやめください。

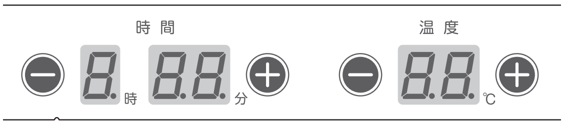


12 電源スイッチをONにする。



発酵器の使い方

1　発酵温度・発酵時間を設定する。



電源スイッチをONにすると、温度35℃、
時間30分と緑色で表示されます。
約3秒後に庫内温度の表示にかわります。

・発酵温度は24～41℃まで、1℃単位で設定できます。
・発酵時間は1分～6時間まで、1分単位で設定できます。
・発酵温度、発酵時間はいつでも設定変更できます。
・発酵温度、発酵時間はパンの種類に応じて設定してください。

スタート

2　 を押す。

予熱がスタートします。

3　予熱完了後、ブザーが鳴ったら、生地を入れる。

スタート

4　 を押す。

発酵がスタートします。

5　終了すると、ブザーが鳴る。

終了後、ヒーターがOFFになります。
終了後はドアを半開きにして庫内を自然乾燥させてください。
庫内は常に清潔に保ってください。

1. 電源を入れてスタートすると、ヒーターが働き、10～30分後には庫内温度は一時的に設定温度より高い状態になります。（設定温度と外気温度により差があります。）
   その後、ヒーターのパワーを調節して、設定温度に近づくように自動的に微調整します。
2. 庫内の上段と下段とでは温度差があります。
   ヒーターに近いところは高くなりますが、故障ではありません。
3. 初めてご使用される場合は、ドアを開けると樹脂の臭いがすることがあります。
   加湿皿に約50ccの水またはぬるま湯を入れ、しばらく使用すると、臭いは消えます。
4. 節電のため、また長くご使用いただくためにも、作動中はドアを閉めてください。
   ドアの開閉はできるだけ最小限にとどめてください。
5. 自動OFF機能採用による安全設計、エコ設計。発酵スタートを忘れたときや設定温度と庫内温度の差が大きく、1時間で設定温度にならないときは自動的にヒーターがOFFになります。

お手入れ

お手入れは、使用ごとにこまめに行ってください。

注意

・必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
・ベンジン、シンナー、磨き粉、たわし、ナイロンたわし、金属たわしなどは、使わないでください。
・湿気が庫内に残っている状態で保存すると、カビの原因になることがあります。また電気部品の絶縁性の低下をまねきます。
ご使用後は必ずドアを半開きにして庫内を自然乾燥させてください。
・ご使用後は室内およびドアについた水滴を、乾いた柔らかい布でふき取り、ドアを開けて庫内を乾燥させてください。また、使用中水滴が大量についた場合も乾いた布でふき取ってください。水、油脂、パン生地等こぼした場合も柔らかい布でよくふき取ってください。
・掃除やお手入れのとき、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
・庫内は常に清潔に保ってください。

本 体

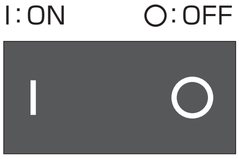
熱板が完全に冷めてから作業してください。やけどをする恐れがあります。

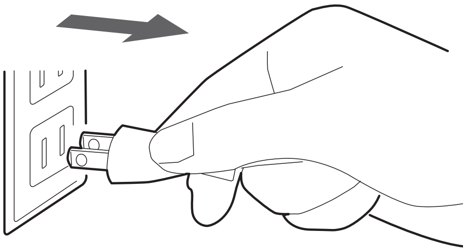
本体表面の汚れを、乾いた柔らかい布で軽くふき取る。

汚れがひどいときは、柔らかい布を水でぬらしてから、固くしぼってふき取り、
最後に必ずからぶきしてください。

分解・保管方法

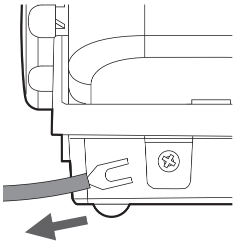
1 電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜く。



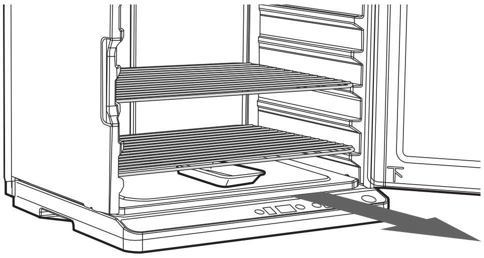


2 アースを取り外す。

ネジをゆるめてアース線の端子を外してください。

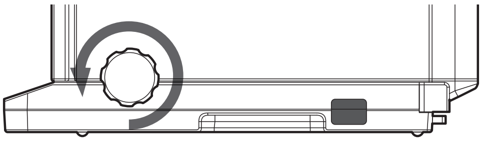


3 棚板と加湿皿を取り出す。

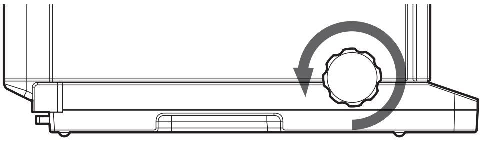


4 両側の取付ノブをゆるめる。

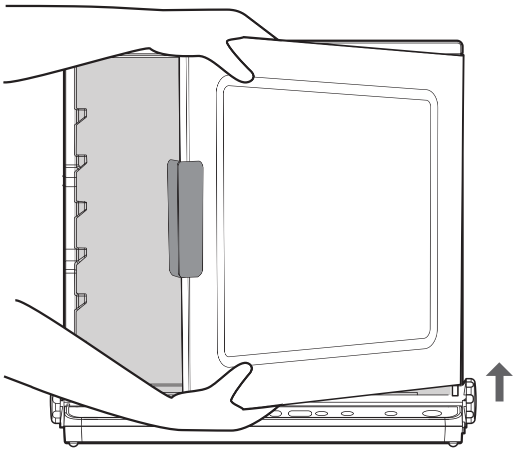
〈右側〉



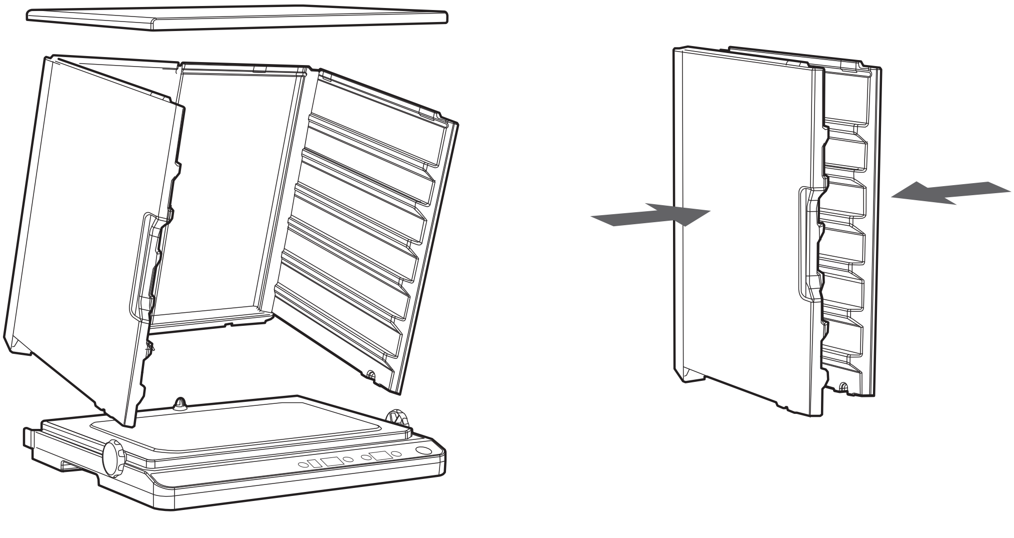
〈左側〉



5 ドアを両手で持って、軽く持ちあげ、ドアの突起を下→上の順番に取り外す。

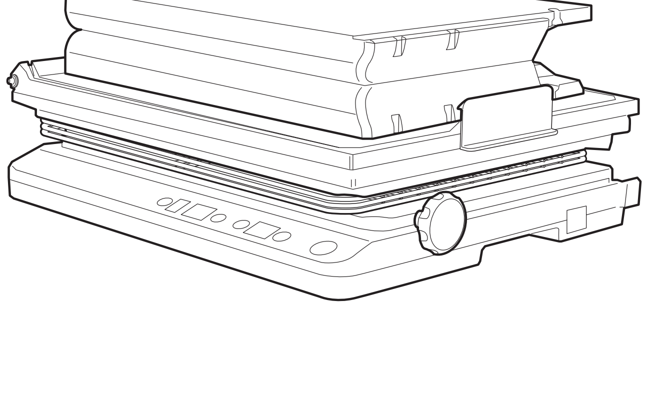


6 天板と折りたたみ板を取り外し、折りたたみ板を折りたたむ。



7 重ねて収納する。

収納袋を2枚用意してあります。
ヒーター本体とその他を2つに分けて
収納してください。



故障かな？ と思ったら

修理を依頼する前にお確かめください。

当社の製品はマイコンで異常を自己診断する機能を搭載しています。
万が一、スタートボタンを押したときに、時間（分）表示にＥ1，Ｅ2，Ｅ3が表示された場合は、
温度センサーに異常がありますので、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、
当社サポートデスクへお問い合わせください。

症状	お調べいただくこと
電源スイッチを入れても何も表示されない。	電源プラグがコンセントにしっかり差さっていますか? ▶電源プラグをコンセントに根元までしっかりと差し込んでください。 もしくは、他のコンセントに差してみてください。
	電源スイッチがONになっていますか? ▶電源スイッチをONにしてください。
温度が上がらない。	スタートボタンを押しましたか? ▶スタートボタンを押して、“予熱”ランプが点滅していることを確認してください。
	設定温度が部屋の温度よりも低くなっていませんか? ▶室温よりも高い温度設定でご使用ください。
温度が下がらない。	設定温度が部屋の温度よりも低くなっていませんか? ▶本製品は冷やす機能をもっていませんので、室温よりも低い温度にすることはできません。 室温よりも高い温度設定でご使用ください。
設定温度に達しない。	推奨室内温度範囲外（18～30℃）の場合、設定温度に達しないことがありますが、故障ではありません。
予熱保温をしていると“ピッピッピッ”と音がして、温度が下がってしまう。	予熱保温を1時間以上続けていませんか? ▶予熱保温は1時間まで可能となっていますので、それまでにスタートボタンを押して、発酵に移行してください。

上記表にしたがって対応しても改善されない場合は、当社サポートデスクにご相談ください。
（17ページ「アフターサービスについて」参照）

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・部品ご購入などについてのご相談は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

・保証期間中の修理

保証書の記載内容により、当社サポートデスクで対応致します。

・保証期間後の修理

修理すれば使用できる製品は、お客様のご要望により、有償にて修理致します。

●補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品※を製造打ち切り後、6年間保有しています。

※**性能部品**：その製品の機能を維持するために必要な部品です。

〈当社サポートデスク〉

・電話番号：**0120-481-484**（フリーダイヤル）

※受付時間：9：00～17：00　月～金曜日（土・日、祝日、弊社休業日を除く）

・ホームページ：**http://kneader.jp**

お問い合わせの際、品番、製造番号および操作部の表示内容についてお尋ねすることがありますので、事前にご確認をお願いします。

品番→操作部または本書の表紙に記載されています。
製造番号→ヒーター本体下面のラベルに記載されています。
操作部表示→表示内容がある場合。

●製造番号について

製造番号を本製品の識別番号として使用しています。
ヒーター本体下面のラベルに**製造番号**が記載されていますので、必要なときすぐに確認できるように、**下の枠内に番号**と**お買い上げいただいた日付**を**記入しておいてください**。

6桁の数字が記載されています。

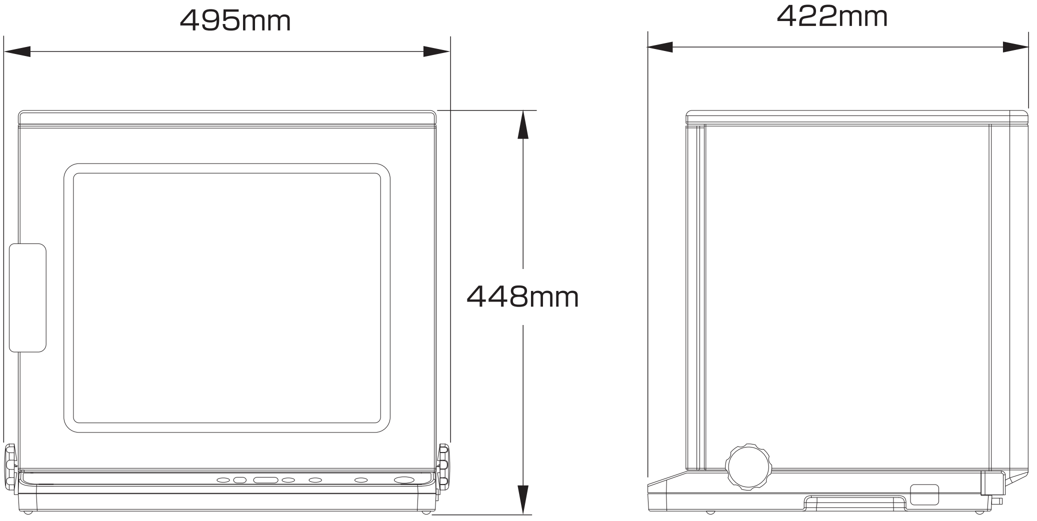
製造番号		購入年月日	年　月　日

仕様

主な仕様は以下のとおりです。

電源	交流 100V 50／60Hz共用
消費電力	120W
タイマー	1分〜6時間00分
温度設定範囲	24〜41℃（推奨室内温度範囲：18〜30℃）
庫内温度表示	10〜45℃ 10℃未満→「LO」表示 45℃以上→「HI」表示
安全装置	電流・温度ヒューズ、サーミスター
外形寸法（幅×奥行き×高さ）	〈組み立て時〉495×422×448mm 〈保管時〉495×398×206mm
庫内寸法（幅×奥行き×高さ）	434×350×360mm
コード長	約1.8m
製品重量	約7kg

■外形寸法図



※製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なしに変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容について、誤りや記載漏れなどお気づきの点がありましたら、
お手数ですが当社までご連絡ください。

日本ニーダー株式会社

[東京営業所]
〒140-0013
東京都品川区南大井6-26-2 大森ベルポート C館 2F
http://kneader.jp

602A50232-1091-001